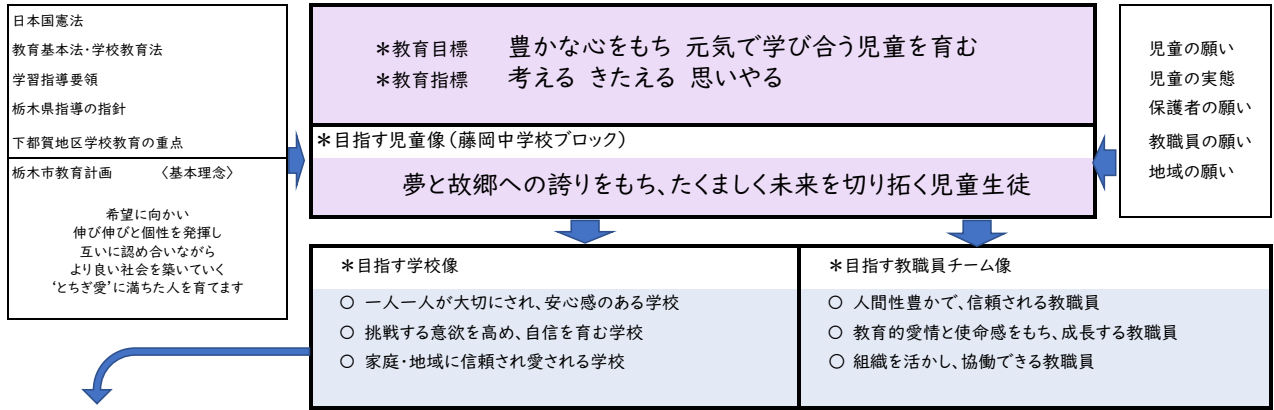


栃木市立藤岡小学校 2025年度学校経営計画



学校経営理念・基本方針

理 念	教育目標・教育指標、並びに栃木市名誉市民・山本有三の「生命尊重・人権尊重」「絆」の精神を踏まえ、学年・学級経営を充実させ、家庭・地域と連携・協力し合い、児童に「生きる力」と「生き抜く力」を育む学校づくりをする。
基 本 方 針	1 本校ならではの特色ある教育活動の充実(地域とともにある学校) 2 確かな学力を育成する授業改善・評価の工夫と学業指導の充実 3 体力の向上及び健康・安全に関する指導の充実 4 組織的な児童指導、支援体制づくり 5 共生社会を形成する自他を思いやる豊かな心の育成 6 教職員の同僚性を基盤としたチーム藤小づくり <div> 「人生の礎となる生きる力の育成」 ～誰一人取り残さない教育～ 一人一人の笑顔のために！楽しい学校づくり！ </div>

今年度の努力点と具体策 ★重点項目

【考える】	【きたえる】	【思いやる】
1 楽しく分かる授業づくり(確かな学力) ★本校ならではの教育過程(ふるさと学習) ★Sサポ、アシストネットの有効活用 ・「とち介の学び」による授業改善 ★児童の意欲を高める評価の工夫 ・全授業のUD(ユニバーサルデザイン)化 ★ICTの効果的活用	1 運動に親しみ体力の向上に努める意欲と態度の育成 ★自分の目標に向かって 粘り強く取り組む授業づくり (挑戦する意欲を高める学習カードの活用) ・楽しさと活動量に満ちた体育授業の展開 ・【5分間ミニ運動】による 体力づくり、からだづくりの充実 ・体育時の安全指導 ・外遊びの奨励	1 豊かな心の育成 ★道徳教育の充実(1タイムの定着) ★働く意義や協働することの楽しさを感じさせる 特別活動(清掃活動) ★異学年交流・学級内交流の充実 ・自己肯定感の育成(自分の良さ・可能性) ・多様な考えを認める人権意識の醸成
2 学び合いの充実 ★児童が主体的に学び合う児童の思いを生かした 授業づくり(聞くことから自己表現活動 書く・話すへ) ★児童をつなぐコーディネート力の向上 ★多様な他者と協働し、課題を解決できる グローバル教育の充実 ・個別最適な学びと協働的な学びの充実	2 健康に関する主体的な態度の育成 ★養護教諭との連携による効果的な指導 ・児童の健康の実態に合わせた指導 ・食育 ・性教育・生命の安全教育 ・ケガ予防の指導(日常的な安全の指導) ・感染症の予防と対応(手洗い指導)	2 児童指導の充実 ★問題行動(いじめ不登校等)の予防に努め、早期発見、迅速かつ丁寧な対応、事後の確認、見届けを組織で対応(いじめ防止基本方針) ★「よい子の一日」による基本的な生活習慣の定着(あいさつ・返事・時間を守る規範意識)
3 学習規律の確立 ★学業指導の充実 (学びに向かう集団づくり 意欲的に取り組む授業づくり) ・教室環境のUD(ユニバーサルデザイン)化	3 安全教育の充実 ・日常的な安全指導 (廊下の歩行、遊具の使い方など) ★交通安全指導の徹底 (登下校、自転車) ・防災教育の推進 (主体的に行動する態度の育成) ・効果的な避難訓練の実施 ・安全点検による環境整備	3 教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実 ・児童理解に努め、一人一人のよさや可能性を伸ばす支援(教育相談、QUTテストの活用) ★すくすくシートによる個別の支援計画の作成・引継ぎ(職員、保護者、SC、関係機関との連携)
4 家庭・地域・関係機関との連携 ★家庭学習の習慣化・読書の奨励(推薦図書の活用) ★HPIによる情報公開 ・さくら連絡網による各種便りの充実 ★Sサポを活用し、授業公開・学習支援 ・コミュニティスクールの推進		4 同僚性を基盤としたチーム藤小づくり ★学び合い、互いに高め合う職員研修(知りたい、共有したい思いを活かす) ★教師が心身ともに健康で子どもに向き合うための業務改善(栃木市版働き方改革)の推進

学校課題研究主題

話し合う力・表現する力を伸ばす研究 ～生活・総合的な学習とのつながりを通して～

今年度の全校共通取り組み

全校立腰の実践を通して、時間やルールを守る態度を育てよう